

コミュニケーション教育／演劇ワークショップ  
講師 履歴書

平成22年 9月30日現在

ふりがな	しばたあいな		
氏名 (芸名・雅号)	柴田愛奈		
職業	俳優		
所属団体	劇団銅鑼		
問合せ先	03-3937-1101	gekidandora@pop12.odn.ne.jp	

演劇ワークショップ等の経験歴		
19年9月～12月	厚生労働省委託『若者自立塾』事業／労協／第八期・第九期／8名～15名	講師 助手
	いわゆる引きこもり、ニートと呼ばれる若者たちにコミュニケーション能力向上を目的に自立支援。三ヶ月の合宿生活の中でワークショップ8回から10回を行い最後に1時間の演劇を上演。	
20年1月～12月	厚生労働省委託『若者自立塾』事業／労協／第十期～第十三期／20名以上	講師 助手
	いわゆる引きこもり、ニートと呼ばれる若者たちにコミュニケーション能力向上を目的に自立支援。三ヶ月の合宿生活の中でワークショップ8回から10回を行い最後に1時間の演劇を上演。	
20年2月～3月	さいたま市／若年者の職業的自立支援講習	講師 助手
	就職につけない若者を対象に伝達ゲーム、アイコンタクトゲーム、緊張を解きほぐすエクササイズを通してコミュニケーション能力を高める。最後はミニ発表会。	
20年11月	不等辺さんかく劇団／俳優を目指さない演劇ワークショップ／名	講師 助手
	不等辺さんかく劇団の林成彦さん主催のワークショップ。一般の方々を対象に、オリジナルのコミュニケーションゲーム等を行う。	
21年1月	労協「若者自立塾」公演「ピリープ」	講師 助手
	若者自立塾卒業生やスタッフ10代から60代15人の出演によるオリジナル公演。ヤクルトホールで有料公演のため、今までの演劇WSを基にさらにレベルを上げる為の演技指導。	

21年2月	厚生労働省委託『若者自立塾』事業／労協／第十四期／6名～15名	講師 助手
	いわゆる引きこもり、ニートと呼ばれる若者たちにコミュニケーション能力向上を目的に自立支援。三ヶ月の合宿生活の中でワークショップ8回から10回を行い最後に1時間の演劇を上演。	
21年2月～3月	さいたま市／若年者の職業的自立支援講習	講師 助手
	就職につけない若者を対象に伝達ゲーム、アイコンタクトゲーム、緊張を解きほぐすエクササイズを通してコミュニケーション能力を高める。最後はミニ発表会。	
21年6月・12月	不等辺さんかく劇団／俳優を目指さない演劇ワークショップ／名	講師 助手
	不等辺さんかく劇団の林成彦さん主催のワークショップ。一般の方々を対象に、オリジナルのコミュニケーションゲーム等を行う。	
21年8月	山梨県内の高等学校演劇部／演劇部部員のための演技講習会／高校1～3年生／生徒が約80名、顧問が約15名	講師 助手
	演劇部部員を対象に、芝居作りに向けた身体作りを行ったり、コミュニケーションゲーム等を通じて交流を図ったりした。グループに分かれて作業もした。	
21年9月	中小企業家劇団チーム「KITAYAMA」旗揚げ公演	講師 助手
	中小企業家同友会公演(19年10月)に参加したメンバーを中心に「明日はうちも、いい会社」を上演。中小企業の「いま」をディバイジング方式でオリジナル作品として立正大学の協力を得て。大人17名参加。	
22年3月	厚生労働省委託『若者自立塾』事業／労協／第十七期・第十八期／5名～15名	講師 助手
	いわゆる引きこもり、ニートと呼ばれる若者たちにコミュニケーション能力向上を目的に自立支援。三ヶ月の合宿生活の中でワークショップ8回から10回を行い最後に1時間の演劇を上演。	
H22年4月	板橋区立中台中学校演劇部	講師 助手
	11月公演に向けての指導。緊張を解きほぐす、想像力アップの為のエクササイズ、作品を深め、演劇の楽しさ、協同作業の大切さ。演劇部員の個性を生かした中台中学校バージョン作品づくり。	

ワークショップリーダーとしての研修歴について	
20 年 9 月	芸団協 『インプロを通して学ぶワークショップ指導者の基本姿勢』（講師：絹川友梨さん、1日）
21 年 6 月	芸団協 渋谷区の小学校における演劇の授業見学及び振り返りの会（谷津かおりさん、多田純也さん、2日）
年 月	
年 月	
年 月	
主な芸歴・受賞歴等	
17 年 4 月	文学座附属演劇研究所本科入所（18年3月卒業で1年間履修）
18 年 12 月	劇団026 『ニライカナイの波』 ウミ役
19 年 2 月	平石耕一演出 『師団坂・六〇』 八千代役
19 年 6 月	劇団026若手公演 『ゆらゆらと』 藤子役
19 年 8 月	劇団銅鑼入団
20 年 9 月	『エイジアン・パラダイス』 スジンダ役（22年9月末日現在で40ステージ）
22 年 6 月	『ハンナのかばん』 アンサンブル役（本郷中学校の学校公演にて）
22年 8 月	船岩祐太演出 『二重の不実』 フラミニヤ役

自己PR
<p>暗い話題の多い現代だからこそ、演劇ワークショップを通して「自分の身体を使って楽しむ」、あるいは「人と関わることを楽しむ」ことが必要なのだと思います。そのためにできることがあれば何でもしたい。ワークショップリーダーとしての研修歴は少ないですが、その分色々な方のワークショップに参加したり、見学させていただいています。また、講師としても助手としても、自分の関わったワークショップについての振り返りは積極的に行い、ディスカッションをし、次に活かすように心掛けています。さらに、劇団内のワークショップ部においても、部員それぞれが学んできたことを還元し合い、学ぶ場を設けています。また、私は教員免許（中学社会、高校地理、高校歴史）も取得しているので、演劇ワークショップを通じて学校や地域ともっと深く関わって行ければ、また、少しでもお役に立てれば嬉しいです。</p>